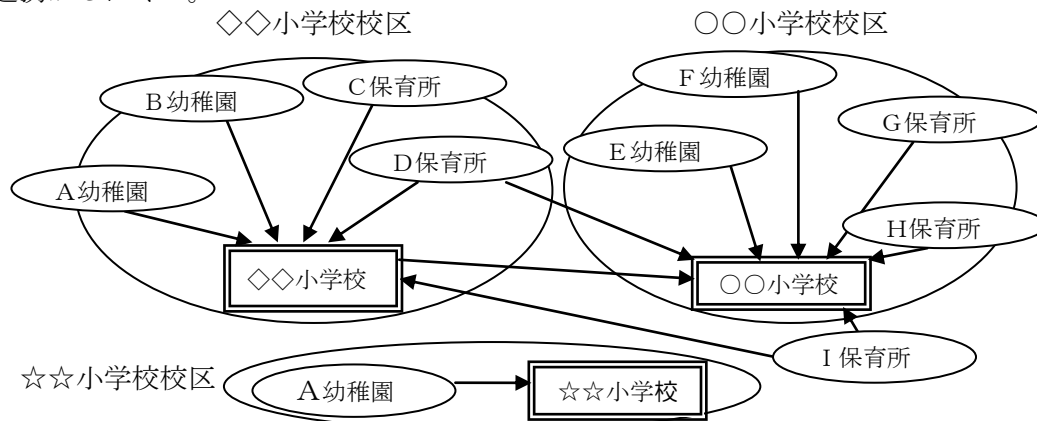


C市 ○○小学校における

〈幼稚園・保育所 - 小学校-中学校〉のよよい連携の工夫

C市の 現状と課題

C市には、現在 小学校が約20校、幼稚園・保育所は合わせて約30園が設置されている。そして、校区の1幼稚園（保育所）からほぼ全員が入学してくる小学校もあれば、隣の校区に所在する幼稚園も含めて10園以上から入学してくる小学校もある。1小学校が受け入れる幼稚園や保育所の数は様々であるため、特別支援教育についての情報をお互いに共有することが難しく、連携がしにくい。



C市としての工夫①

「C市 幼・保・小 連携推進会議」

C市では、よよい連携を図るために、平成13年度から「幼・保・小 連携推進会議」が設けられている。メンバーは、市教育委員会、保育会長、幼稚園連合会長、小学校長会長、C市内の幼稚園・保育所各園から1名ずつと、各小学校から1名ずつで構成されるが、それぞれの分掌は、園長、主任、1年担任、学年主任、養護教諭と様々である。

年2回の会議では、研修、授業・保育活動の参観、そして各校区ごとの幼児・児童の情報交換などを積極的に行っている。また、校区以外にある幼稚園・保育所に向けての相談窓口を紹介するために、特別支援教育コーディネーターの名簿を資料に添付し積極的な交流をねらっている。

○○小学校としての工夫②

○○小学校 体験入学

○○小学校では、新就学児に向けて年3回の体験を計画している。それによって、小学校へのスムーズな適応とより確かな実態把握をねらっている。

- 1回目・・・ 9月 運動会に招待して2年生と一緒に競技に参加する。
- 2回目・・・ 10月 入学生説明会。5年生の引率による就学時健診。絵本の読み聞かせや折り紙を一緒に行う。
- 3回目・・・ 2月 1年生の授業参観と体験授業。

○○小学校と○○中学校の工夫③

○○中学校 体験入学

○○小学校と○○中学校では、特別支援学級児童のスムーズな適応をねらって、中学校区の小学校数校の特別支援学級が集まり、交流会を行っている。

- 1回目・・・ 7月 名刺交換や自己紹介、ゲームを中心の交流
- 2回目・・・ 11月 ゲームなどの交流 作業学習体験
- 3回目・・・ 2月 ゲームなどの交流 卒業・進級を祝う会